

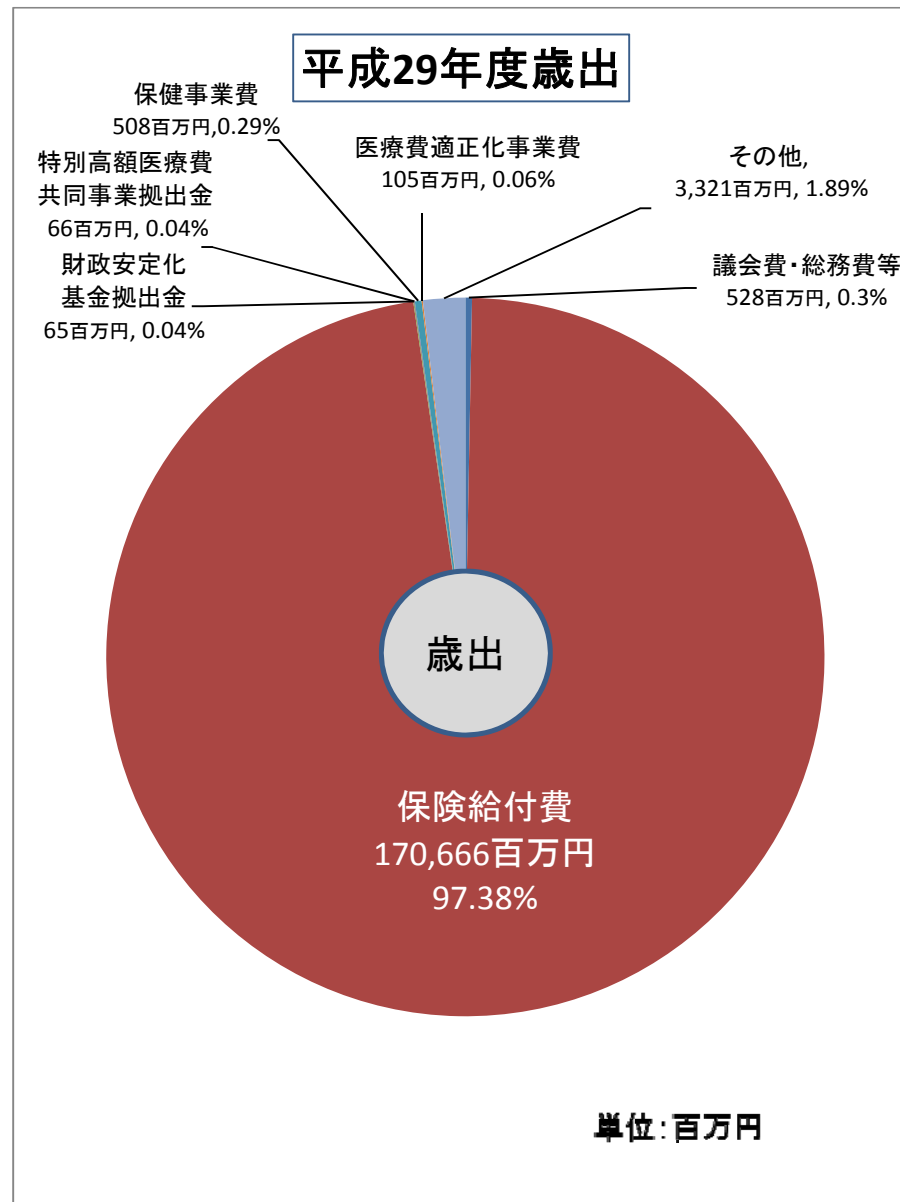
一般会計

歳入 744,788
歳出 661,619
差引 83,169

特別会計

歳入 178,433,789
歳出 175,151,238
差引 3,282,551

単位: 千円



★歳入: 178,624,572,760円 (会計間の繰入・繰出を控除して合算)
※繰入・繰出金554,005,000円

★歳出: 175,258,851,992円 (会計間の繰入・繰出を控除して合算)
※繰入・繰出金554,005,000円

○主な歳入項目と内容

<p>・国庫支出金</p> <p>◇療養給付費負担金 41,777,753,571円 療養の給付等に要する費用額(現役並み所得者分を除く。)の3/12を負担</p> <p>◇調整交付金 12,787,239,000円 広域連合ごとの被保険者の所得格差による財政の不均衡を調整するため交付。 ・普通調整交付金12,638,628千円 ・特別調整交付金148,611千円</p>
<p>・支払基金交付金 71,446,663,000円</p> <p>広域連合が療養の給付として負担する費用の4割及び現役並み所得者への特定費用として負担する費用の9割は、社会保険診療報酬支払基金が現役世代から後期高齢者医療制度への負担金として徴収する後期高齢者支援金が充てられ、後期高齢者交付金として交付</p>
<p>・保険基盤安定負担金 3,162,349,905円</p> <p>低所得者等の保険料7・5・2割軽減分を公費で補填(負担割合: 市町村1/4、県3/4)</p>
<p>・保険料負担金 14,569,148,903円 (特徴 8,307,954千円、普徴 6,209,039千円、滞繰 52,156千円)</p> <p>被保険者の保険料負担能力に応じて賦課される応能分の「所得割額(所得割率8.92%)」と受益に応じて等しく被保険者に賦課される応益分の「均等割額(1人当たり44,800円)」</p>

○主な歳出項目

主な歳出項目 (単位: 円)		主な歳出項目 (単位: 円)	
・保険給付費	170,666,170,066	・医療費適正化事業費	104,628,090
療養給付費	159,497,263,680	ジェネリック啓発パンフレット	348,300
訪問看護療養費	1,051,454,674	ジェネリック差額通知事業	1,865,073
療養費	1,716,156,480	レセプト2次点検委託料	42,638,031
移送費	147,140	重複頻回受診者訪問指導事業	1,226,920
審査支払手数料	383,004,108	療養費点検業務委託料	8,754,609
高額療養費	7,532,486,976	医療費通知事業	43,564,085
高額介護合算療養費	165,887,008	服薬訪問指導事業	3,497,217
葬祭費	319,770,000	服薬情報通知事業	1,975,749
・保健事業費	507,992,632	その他等	758,106
健診事業委託料	458,977,806	・その他の歳出	3,980,061,204
口腔健診委託料	26,175,038	派遣職員給与等負担金	134,879,539
口腔受診券等印刷	1,083,585	レセプト管理委託料等	120,246,437
口腔受診券郵送代	1,959,743	電算システム運用・番号制度対応	68,257,080
健診受診券交付	14,796,060	補助金等返還金	3,295,065,441
データヘルス計画事業	5,000,400	その他等	361,612,707